

障害者差別に関する相談事例について

＜事 例＞

相 談 者	男性（精神障害者本人）
相談内容	＜不当な差別的取扱いに関する相談＞ ハローワーク千葉の各窓口において、精神障害者福祉手帳を保有していることがわかったとたん、タメ口を使われたり、子ども扱いをされる。 自分は以前、仕事の中でうつ病になってしまっただけなのに、タメ口や子ども扱い、その他の偏見を受けている。 ⇒他の人も同じように感じているのではないかと思うので、改善して欲しい。 ハローワークの改善を要望、それに対する結果報告が欲しい。ただし、ハローワークに対しては、自分の名前は絶対に伏せて欲しい。
対 応	＜対応内容＞ 本人に対し、「ハローワーク内のどの窓口のどの職員に不適切な対応をされたか」確認を行ったところ、「特定の窓口の個人限定ではなく、組織的に全員がそのような対応をしている。」との説明があったことから、本人と今後の対応について検討。 また、「匿名で、絶対に個人を特定させない事」を強く希望するとの事から、ハローワーク内の障害者に対応しうる全ての窓口（千葉障害者職業センター等の3カ所）に対し、担当が直接本相談について情報共有の形を取り、今後の対応向上にを求める事とした。 ＜相談者へ報告＞ ハローワーク内の各部署（千葉障害者職業センター等の3カ所）の各管理職の方に本人の主訴を伝え理解を得られた事、併せて、障害特性によっては、口語等のほうが理解しやすい方が居る事も伝え、個人個人の特性に合わせた対応が必要である事、を伝えた。 また、障害のある方への対応等で悩んだ際には、千葉市としても情報提供や対応方法の提案等可能な限り協力出来る旨を伝えた事を本人に伝えた。 上記内容の報告について、本人より了承を得る。 本人曰く「今後の対応の改善に期待する。」との事。